

## 女性人口移動にみるアジア社会主義システムの再編成と親密圏の変容

中山 大将

(北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会特別研究員 PD)

李 丹

(京都大学大学院農学研究科博士後期課程)

2013年2月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: [intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp](mailto:intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp) URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

## 要旨

本次世代研究ユニットでは、「社会主義システム」を「公共圏」とし、その再編成により起きた「女性人口移動」を軸に、「親密圏」の変容を分析することを課題とした。

中山の研究テーマは、「サハリン残留日本人永住帰国運動」である。日ソ国交回復やペレストロイカ、ソ連崩壊という公共圏の再編成の中で生じた「帰国」という国際人口移動に焦点をあて、冷戦期にサハリンの州都（ユジノ・サハリンスク）で形成された日本人コミュニティとポスト冷戦期の永住帰国運動との関係性、およびこれらに伴う親密圏の変容について論じた。

李の研究テーマは、「中国における外出務工女性の回流」である。改革開放以降に起きた農村から都市への大規模な人の流れは、これまで「農民工」「打工妹」問題として着目され、研究もなされてきた。李の研究は、都市問題としてではなく、農村地域の視点から、「回流」「帰郷」やその後の「起業」などの活動に着目し、この往還的な人の動きと、その中での地域社会や親密圏の変容にアプローチした。

両者の研究は、対象地域として、サハリン（ソ連・ロシア）－河北省（中国）、人口移動として、国際－国内、公共圏の再編成として、国際関係システム－社会・経済システム、対象者として、高齢者－若年者、という数々の相違があるものの、「社会主義」と「女性」という点では共通している。アジア現代社会において、社会主義国の女性たちがどのような経験をしているのか、それが彼女たちにとってどんな意味を持つのかを検証する試みである。

キーワード：人口移動、女性、社会主義、サハリン、中国。

2011 年度次世代研究「女性人口移動にみるアジア社会主義システムの再編成と親密圏の変容」(研究代表：中山大将)による成果である。

【メンバー】( )内は 2011 年度プロジェクト時点

中山 大将 (京都大学大学院文学研究科グローバル COE 研究員)

李 丹 (京都大学大学院農学研究科博士後期課程)